

職員用  
申請書番号 \_\_\_\_\_  
日付 \_\_\_\_\_

(奨励申請書とともに 2017 年 12 月 31 日までに提出すること)

奨励申請書の添付フォーム

投資委員会布告第 1/2557 号生産効率向上投資促進措置に基づく

機械入れ替えの投資促進措置

私 \_\_\_\_\_、 \_\_\_\_\_ 株式会  
社、 \_\_\_\_\_ を製造している。

○ 奨励証書番号 \_\_\_\_\_ 日付 \_\_\_\_\_

○ 非奨励事業

投資委員会布告第 1/2557 号生産効率向上投資促進措置に基づく機械入れ替えの投資促進措置に基づき、恩典を受取りたく、以下委員会が定めたことをする。

1. 内容

1.1 最高年間生産力

	基準年 ( _____ 年)	評価年 _____ (実行後 1 年間)
製品		
製造力		
稼働時間	____ 時間/日 ____ 日/年	____ 時間/日 ____ 日/年

注 奨励申請の前年が基準年とし、基準年の生産量に基づき、実行 1 年後の実績で計算すること。

1.2 代替エネルギー使用指数( \_\_\_\_\_ 年生産高: \_\_\_\_\_ /年、に基づく計算)

年間エネルギー使用量	基準年 ( _____ 年)	評価年 _____ (実行後 1 年間)	削減 % (対基準年)
1. 1 単位あたり直接原価			
2. 歩留まり			

年間エネルギー使用量	基準年 (_____年)	評価年_____年 (実行後 1 年間)	削減% (対基準年)
3. その他の指数 3.1)-3.6)のうちひとつ選択すること。			
3.1)付加価値的製造効率指数(Amount of processing per employee)			
3.2)設備投資効率比率(Efficiency of machinery investment ratio)			
3.3)総合設備効率(Overall Equipment Effectiveness)			
3.4) 装置稼働率(Equipment Operating Ratio:EOR)			
3.5)平均故障間隔(Mean time between failure:MTBF)			
3.6)実際生産高対最高生産能力比率 (Actual production rate as a percentage of the maximum capable production rate)			

注 奨励申請の前年が基準年とし、基準年の生産量に基づき、実行 1 年後の実績で計算すること。

2. 実行計画 (添付資料として内容別で示すこと)

2.1 実行計画内容 以下の詳細を示し、添付すること。

- －実行の趣旨
- －既存の生産ラインの改善内容および設備の改善を示す図形
- －関係政府機械への報告書、環境県連の分析報告書など関連指数を証明するエビデンス
- －技術源(技術や設計の詳細、設計者など)
- －機械/設備/器具(新規のもののみ)の明細、それぞれの数量、金額、期間、実行方法などを示すこと。
- －実行の期間および段取

2.2 第 2.1 項における提案にもとづく生産ライン改善のみに関する投資明細

(単位:千パーツ)

	_____年	_____年	_____年
1.建設費	_____	_____	_____
2.機械/設備/器具費	_____	_____	_____
3.機械設置費	_____	_____	_____
4.試運転費	_____	_____	_____
総投資額	_____	_____	_____

注 機械の入れ替えに関して、生産ラインにおける設備の入れ替えと技術の更新を以下の通り検討する。

詳細	注
<p>1. 機械の入れ替え</p> <p>1) ロボット、自動オートローダの設置など効率向上のために機械の入れ替え、増設があること。自動サイロなど適切、必要に応じて付属設備も含むことを可能とする。</p> <p>2) 以下のものを含む。</p> <p>(1) 製品の表面検査が早くできるように鉄板生産ラインにおけるレントゲン機の設置、生産効率を高める自動品質検査設備。</p> <p>(2) 製造業のみで、生産計画および管理システム(ハードウェアおよびソフトウェアを含む)、倉庫管理システム、マテハン、原材料準備システム、放送システムなど生産管理および補助システム。</p> <p>(3) 実行予算を除き、投資予算における器具/部品/消耗品の更新</p>	<p>—管理システムの更新の場合は生産効率を高めるものでなければならない。倉庫サービスのようなサービスを除く。</p> <p>—機械の劣化による機械または部品の取替えを除く。</p>
<p>2. 技術の更新</p> <p>1) 効率を高めるために技術を導入すること。</p> <p>2) 自動化された既存の生産ラインに既存の技術の新機種の場合、その結果は定めの指数にあうものでなければならない。</p> <p>3) 既存製品の生産効率を高めるための機械更新は定めの指数にあい、明確に確認できるものでなければならない。</p>	

私は以上のことが事実または最良推定値であることを証明する。

署名 \_\_\_\_\_

( \_\_\_\_\_ )

日付 \_\_\_\_\_

注 登記に基づき書名、社印を付けること。